

「言葉にできない」人たちに
—書評『言葉にできるは武器になる』—

テレビ、雑誌、ポスター、はたまた電車の中吊り広告。僕たちは言葉を見る機会にあふれている。

ツイッター、Face Book、もしくは論文に就活のエントリーシート。言葉を書く機会にもあふれている。

いざ書かなければいけない時に、手が止まったり、うまく文を続けられないのはなぜだろうか。しっかりと頭の中では考えられているはずなのに、「見る」言葉にできないのはなぜだろうか。

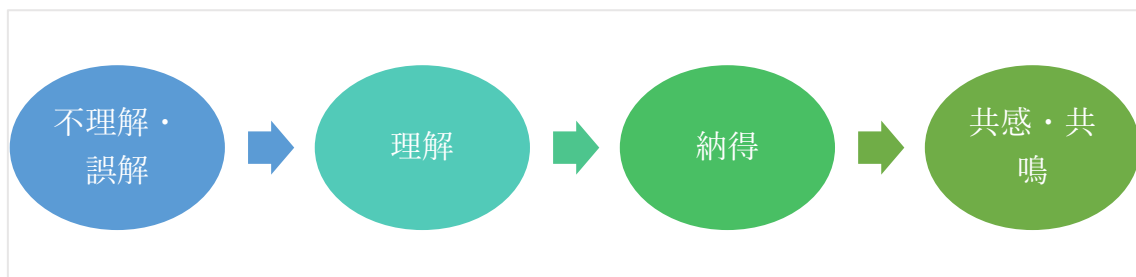
日本トップの総合広告代理店電通のコピーライター梅田悟司の書いた『言葉にできるは武器になる』は僕らに対する回答を持っている本である、と思う。

この本は以下のように展開する。

1. 「内なる言葉」と向き合う
2. 正しく考えを深める「思考サイクル」
3. プロが行う「言葉にするプロセス」

気づくかもしれないが、この本はコピーライターのように「すぐ」「簡単に」言葉が出てくるようになるハウツー本ではない。

まず考えなければいけないのは、伝わり方にはレベルがあるということだ。



伝わり方・理解度を高めるために、著者が強調するのは「内なる言葉」（＝無意識のうちに頭に浮かぶ感情など自分の頭の中の言葉）である。

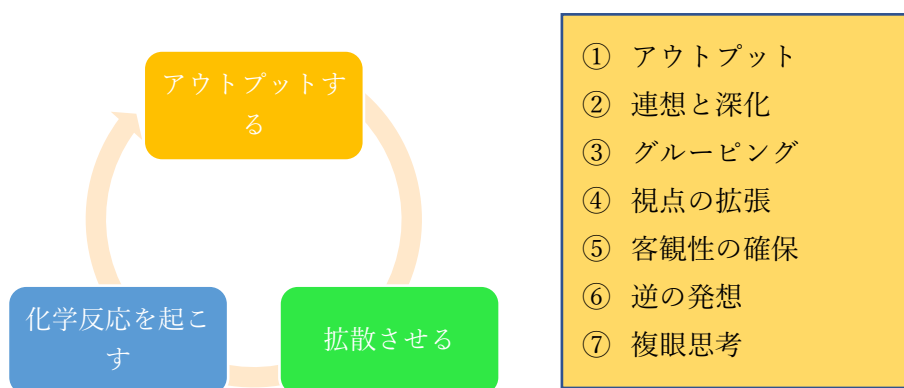
「内なる言葉」を磨くことで、自分の意見を相手に伝わるように言語化するということがある。

“「人を動かすことはできない。」より正確に表現するならば、「人が動きたくなる」ようにしたり、「自ら動いてしまう」空気を作ることしかできないのだ。”

大学生に置き換えると、就職活動では、「自分を採用したくなる」ような空気を作るためのエントリーシートを書くためには、自分の中の「内なる言葉」を磨き、それを表現することが必要なのだ。

その内なる言葉を、「外に向かう言葉」にするための方法が、考えの解像度を上げるための思考サイクルである。

思考サイクルは 7 ステップで構成されるが、ここでは簡単に述べるに留める。興味を持ったら、実際に購入して読んでほしい。



自分の頭と A4 用紙、ペン以外何もいらない。

思いつく言葉を書き集め、その言葉から連想・深化、グループ化。そして自分の主観ではなく、他者が理解できるように異なる視点から眺める。

このステップで思考を鍛えて、「内なる言葉」の解像度を上げる。

正直に言って、ここまで考えた言葉は伝わるだろう。

最終章では、プロのコピーライターとして、著者本人の言語化の方法が紹介されている。しかしながら、これも実にシンプルである。

- ①日本語の型を覚える。(教科書に出てくる比喻のような表現法)
- ②言葉にする心構えを持つ。(伝えるターゲットを意識する。など)

思考を鍛えることが、「言葉にする」ための方法論である。

自分が思っていることを認識する（解像度を上げる）ことが、伝わる言葉を作るために重

要なのである。

この本を手にとったとき、「どんな方法論が書いてあるのか」と期待していた。しかし、書いてあったものは、「思考を鍛えよ」ということ。

ふと思ったのは、バーバラ・ミンツの『考える技術・書く技術』という本も、考えることと書くことを時系列に書いている、ということ。

さらに、ここに書かれていたアウトプットの方法も、赤羽雄二の『ゼロ秒思考』で書かれていたことと似ている気がする。こちらは思考法の本だが。

考え、言葉にする方法はどの業界でも一緒であるということかもしれない。というよりも、当たり前だが、人間ならだれでも同じように、考え、言葉にしているということか。

大学生なら、レポート、エントリーシート、そして卒論と必ず書く能力が求められるはず。そして、キャリアを考えるならば、自分の言葉によって人を動かすことが必要になってくる。（「人は言葉では動かない」が、「空気を作ることはできる」。）

そんな時に、手っ取り早くハウツー本に頼ると中身のない薄っぺらな人間になってしまう。（著者もこの点について、“「伝わり方は人間性の評価につながる」”と言っている。）

あなたに伝えたいことがある。

「言葉にできるを武器にしよう」

以下は、①この本を手にとるきっかけとなった本と、②この本から連想した本である。

①

原田マハ『本日はお日柄もよく』

https://www.amazon.co.jp/%E6%9C%AC%E6%97%A5%E3%81%AF%E3%80%81%E3%81%8A%E6%97%A5%E6%9F%84%E3%82%82%E3%82%88%E3%81%8F-%E5%BE%B3%E9%96%93%E6%96%87%E5%BA%AB-%E5%8E%9F%E7%94%B0%E3%83%9E%E3%83%8F/dp/4198937060/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1525596203&sr=1-1&keywords=%E6%9C%AC%E6%97%A5%E3%81%AF%E3%81%8A%E6%97%A5%E6%9F%84%E3%82%82%E3%82%88%E3%81%8F

スピーチライターにまつわる本。表に出ないスピーチライターが書くスピーチによってこんなに感動するものかと思わせてくれた。言葉の力に衝撃。

電通ジブンと社会をつなぐ教室プロジェクト

『なぜ君たちは就活になるとみんな同じようなことばかりしゃべりだすのか。』

https://www.amazon.co.jp/%E3%81%AA%E3%81%9C%E5%90%9B%E3%81%9F%E3%81%A1%E3%81%AF%E5%B0%B1%E6%B4%BB%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%81%BF%E3%82%93%E3%81%AA%E5%90%8C%E3%81%98%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%AA%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%B0%E3%81%8B%E3%82%8A%E3%81%97%E3%82%83%E3%81%B9%E3%82%8A%E3%81%A0%E3%81%99%E3%81%AE%E3%81%8B%E3%80%82-%E3%82%B8%E3%83%96%E3%83%B3%E3%81%AE%E6%9C%AC%E5%BD%93%E3%81%AE%E4%BE%A1%E5%80%A4%E3%82%92%E4%BC%9D%E3%81%88%E3%82%8B%E6%8A%80%E8%A1%93%E9%9B%84%E4%B8%80%E9%83%8E-%E7%BE%8E%E4%BF%9D%E5%AD%90-%E5%A3%AE%E5%A4%AA%E9%83%8E/dp/4883353230/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1525596172&sr=1-1&keywords=%E3%81%AA%E3%81%9C%E5%90%9B%E3%81%9F%E3%81%A1%E3%81%AF%E5%B0%B1%E6%B4%BB%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%81%BF%E3%82%93%E3%81%AA%E5%90%8C%E3%81%98%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%AA%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%B0%E3%81%8B%E3%82%8A%E3%81%97%E3%82%83%E3%81%B9%E3%82%8A%E3%81%A0%E3%81%99%E3%81%AE%E3%81%8B

電通の本。他の人と同じようなことしか話せない就活生に対して、警告とアドバイスを与えてくれる。

②

バーバラ・ミント 『考える技術・書く技術』

<https://www.amazon.co.jp/%E8%80%83%E3%81%88%E3%82%8B%E6%8A%80%E8%A1%93%E3%83%BB%E6%9B%B8%E3%81%8F%E6%8A%80%E8%A1%93%E2%80%95%E5%95%8F%E9%A1%8C%E8%A7%A3%E6%B1%BA%E5%8A%9B%E3%82%92%E4%BC%B8%E3%81%B0%E3%81%99%E3%83%94%E3%83%A9%E3%83%9F%E3%83%83%E3%83%89%E5%8E%9F%E5%89%87-%E3%83%90%E3%83%BC%E3%83%90%E3%83%A9-%E3%83%9F%E3%83%B3%E3%83%88/dp/4478490279>

マッキンゼーなどのコンサルティングファームでライティングを教える著者が、わかりやすく伝わる文章の書き方を記した本。コンサル志望は必読とか。

赤羽雄二 『ゼロ秒思考』

<https://www.amazon.co.jp/%E3%82%BC%E3%83%AD%E7%A7%92%E6%80%9D%E8%80%83-%E9%A0%AD%E3%81%8C%E3%82%88%E3%81%8F%E3%81%AA%E3%82>

https://www.amazon.co.jp/dp/447802099X/ref=sr_1_1?s=books&ie=UTF8&qid=1525595967&sr=1-1&keywords=%E3%82%BC%E3%83%AD%E7%A7%92%E6%80%9D%E8%80%83%E3%83%AB%E3%81%AA%E3%83%88%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0-%E8%B5%A4%E7%BE%BD-%E9%9B%84%E4%BA%8C

マッキンゼー出身の著者による思考法の本。シンプルな方法で、思考法だけでなく、文章力も付くという。この著者の本は、実践しやすく、読みやすい本が多い印象。